

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぐるっくりんりん篠路(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日 ~ 2026年2月13日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13 (回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2026年2月1日 ~ 2026年2月13日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	関係機関や保護者との連携	運営2年目は更に保護者様との連携を深めるため、直接、または電話、アプリ(お便りを含む)などの手段で、積極的にお子様様を伝え合うことができた。また、インクルージョン推進の観点から、関係機関(認定こども園、他事業所)と支援内容の情報共有と相互理解を図る機会をもつことによって、お子様への支援の手がかりを深めることができ、有効と感じている。	ペアレント・トレーニングには着手しなかったが、今後は、家族等の参加できる研修の機会を設け、保護者の支援に繋げていく。地域との交流も深めたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境・体制整備	直接支援の職員(パートタイム)の定着が弱かった。意欲をもって長く働いてもらえるような風通しのよい風土を築くことが今後の結果に繋がると考える。	法人全体で組織的に、教育理念に基づいた人材育成を継続していく。また、研修計画を改善し、学びと実践の両面から専門性を磨き高めることのできる、やりがいのある職場づくりを目指す。
2	保護者様への説明等	こちらからの一方的な発信だけでなく、保護者から日常の困り事や相談をしていただく機会が増えた点はよかった。また、今年度初めて敷地内の園と合同でお祭りを開催、冬には親子参加日を実施し、職員と話す機会や保護者同士が顔を合わせる機会を作ることができたが、保護者同士の交流まではいかなかった。	年に数回、保護者同士が気軽にゆったり交流する機会を設けていきたい。また、事故防止マニュアルや避難訓練の様子など、直接集まる機会やアプリを通じて、保護者へわかりやすく伝えていく。

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日:

事業所名: 児童発達支援 ぐるっくりんりん探険

対象人数(保護者) 13人 回答者数 12人 回収 92.3%

項目	評価項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11			1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12					
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1				
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12					
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	12					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1	1			
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	12					
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用費負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	3		1		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12					ご家族のための研修会の企画も検討して参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	1	3		イベント等を工夫し、保護者様やご家族同士の交流の機会を提供してまいります。
	19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12					
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12					
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12					
非常時の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1		2		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1		5		年2回の避難訓練など、SNS等でお知らせし、安心いただけるようにして参ります。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1		1		
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			1		
満足度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	12					
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	12					
	29 事業所の支援に満足していますか。	11	1				全保護者様に満足いただけるよう今後も質の向上を目指して参ります。よろしく願いいた

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をすることがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「児童発達支援計画(個別支援計画)」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その習得の能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための目標、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその他の特徴を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動改善することを目標とします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ぐるっくりんりん篠路(児童発達支援)
------	--------------------

公表日 2026年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2	安全に活動できるよう流れを職員で共有している。変更時には声を掛け合っている。	メンターの活性化等とおして、スタッフの定着を図る。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		危険と思われる所にはコーナーガードをつけたり柵を設置し適切な環境づくりを行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	1	隅々の清掃は更に改善が必要。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3			
業	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1		

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		

× 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	全員が共有することが難しい。	退勤時間が違う勤務者へ配慮し、朝礼、ミーティングでも共有している。また、LINEワークス、業務改善用アプリも活用中。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1		

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	2		保護者の要望を受け、小学校の担任の先生と情報共有、相互理解を図った。今後、機会を増やしたい。	
	28	(28~30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		2			・むうさんが必要に応じ訪問、アドバイスをくださっている。 ・まだまだ連携をとれていない部分もある。	引き続き、活用していく。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3					
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			業務改善専用アプリを活用している。		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	親子で遊ぼうの企画をしたい。	今後、家族等の参加できる機会、保護者向け研修の企画にも取り組みたい。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい同士は行っていない。 ・まだまだ整備は必要。 	保護者交流の場も増やしていきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			職員のみ周知している。	実施しているが、外部への発信がなかったため、工夫していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1		食事のテーブルを分ける、必ずそれぞれのテーブルにスタッフを配置することを徹底している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	2		2月には札幌市の避難確保計画作成支援会にも参加し、策定している。(周知はシステムに反映されてから)
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	1	必要な利用者がいなかった。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぐるっくりんりん篠路(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	2
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	関係機関や保護者との連携	運営2年目は更に保護者様との連携を深めるため、直接、または電話、アプリ(お便りを含む)などの手段で、積極的にお子様の様子を伝え合うことができた。また、インクルージョン推進の観点から、関係機関(学校)と支援内容の情報共有と相互理解を図る機会をもつことによって、お子様への支援の手がかりを深めることができ、有効と感じている。	ペアレント・トレーニングには着手しなかったが、今後は、家族等の参加できる研修の機会を設け、保護者の支援に繋げていく。地域との交流も深めたい。
2	適切な支援の提供	放デイの運営としては初年度であった今年度、利用者は1年生3名で一人ひとりに寄り添った療育を実践できた。今後は進級・進学により利用者が増えていくので、幼児とは異なる環境の作り込みをすることが必要。活動内容においては更なる充実が必要と感じている。	活動内容として、cookingや制作活動など、自己選択の経験を通して、考える・挑戦する・決めたことに最後まで取り組む力等を育てていく。また、外出やお仕事体験など、社会体験の機会を設けて支援の充実を図りたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様への説明等	こちらからの一方的な発信だけでなく、保護者から日常の困り事や相談をしていただく機会が増えた点はよかった。また、今年度初めて敷地内の園と合同でお祭りを開催、冬には親子参加日を実施し、職員と話す機会や保護者同士が顔を合わせる機会を作ることができたが、保護者同士の交流まではいかなかった。	年に数回、保護者同士が気軽にゆったり交流する機会を設けていきたい。また、事故防止マニュアルや避難訓練の様子など、直接集まる機会やアプリ、インスタグラム等を通じて、保護者へわかりやすく伝えていく。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：

事業所名：放課後等デイサービス ぐるっくりんりん館

対象人数（保護者）3人 回答者数2人 回収 66.7%

チェック項目	はい	どちらか （ええ）	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
2 2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1			1		
3 3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
4 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
5 5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
6 6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
7 7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	2					
8 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
9 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
10 10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					
11 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2					
12 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
13 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
14 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2					
15 15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	2					
16 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
17 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
18 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2					
19 19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					
20 20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
21 21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2					
22 22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
23 23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1			1		
24 24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			1		
25 25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	1				
26 26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					
27 27 子どもは安心感をもって通所していますか。	2					
28 28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	2					
29 29 事業所の支援に満足していますか。	2					

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をやるのかわかりやすいよう、机や半間の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上で必要な事項などを記載する計画のことです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達状況や障害の特性に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動改善することを目標とします。

(別紙5)

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 ぐるっくりんりん篠路(放課後等デイサービス)

公表日 2026年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	1		児童発達支援の割合が多いので、放デイについてはもう少し工夫が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	1		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3			
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3			

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	1		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2		

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3			設けたが参加者が少ない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2		
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1		

対 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぐるっくりんりん篠路（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月13日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3	(回答数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先施設への説明等	今年度は、法人内の園だけでなく他園の担任の先生が事業所の見学に来てくださるなど、訪問支援の日に限らず、疑問に思ったことや相談などが相互に行われ、保育・療育の連携がよくとれたように思う。保護者との共有も図られ、お子様への関わり方が、三者共通の認識で進められる。	お子様にとって、場所(園や事業所、家庭など)によってやり方や態度を変える習慣がついてしまったり、関わる人によって全く異なる指示をもらったりしないために、三者の共通理解はとても大切であると考えている。SNS等も活用し、開かれた施設づくりを進め、コミュニケーションを深めていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	質の向上	経験と学び、体制の整備等の余地がまだあると感じる。	引き続き、積極的に専門家や専門機関から助言を受けたり、外部研修に参加するなどして、施設全体で成長していく。これによって、お子様の特性の説明や集団活動での配慮等、より丁寧で適切な助言、直接支援をできるようになっていきたい。今後の見通しとしては、訪問支援員の人員を増やし育成していきたいと考えている。

保護者等向け 保育所等訪問支援評価表

公表日：

事業所名：保育所等訪問支援 ぐるっくりりん傑路

対象人数（保護者）10人 回答者数 10人 回収 100%

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を頂きましたか
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	6	1		3		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	9			1		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	9	1				
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	9			1		
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	10					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	10					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）（※1）が作成されていると思えますか。	10					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	10					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	10					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	10					
保護者への説明等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	10					
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）（※2）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	7	1		2		
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていると思えますか。	10					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	10					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	10					
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	10					
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思えますか。	10					
	22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思えますか。	10					
	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10					
	24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	10					
非常時等の対応	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思えますか。	9			1		
満足度	26 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	10					
	27 こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	10					
	28 事業所の支援に満足していますか。	10					

※1 「保育所等訪問支援計画（個別支援計画）」は、保育所等訪問支援を利用する個々のこどもについて、将来に対する見直しを持った上で、その有する能力、訪問先の日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、「利用児と家族の生活に対する意向」、「総合的な支援方針」、「長期目標」、「短期目標」、「支援目標及び具体的な支援内容等」（「支援目標」、「支援内容」、「達成時期」、「担当者・提供機関」、「留意事項」）を記載する計画のことです。

これは、保育所等訪問支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※2 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの場合の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ぐるっくりんりん篠路（保育所等訪問支援）
------	----------------------

公表日 2026年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環 境 制 整 備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	1		訪問先に持参する必要性は特になかった。今後、必要に応じて即用意する体制は整っている。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1	支援員を増やしていきたい。	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3			

	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		3	

携	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	
保 護 者 等 へ の 説 明 等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	1	
33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			

	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	1	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	1	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	ご家族への周知も力を入れていく。

非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		身体拘束が必要なケースはなかった。

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名	公表日
ぐるっくりんりん篠路（保育所等訪問支援）	2026年3月31日
利用児童数 9人 回収数 3施設（100%）	

	チェック項目	評価			ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ		
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3			・園とデイでの対応を同じにすることで子どもの混乱を減らせていると思います。	・幼児期・児童期は身近な大人への愛着を形成したり、善悪の判断を身につけたりする大事な時期です。事業所と園、保護者との連携を深めて、お子様の戸惑いを減らし、のびのびと成長できる環境を大切に育んで参ります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2	1		・知識、技術等という点では、活動観察だけでは難しいようにも感じた。	・お子様の特性(や適切な時期)と保護者からのご要望に応じて、活動の妨げにならないよう配慮したうえで、直接支援をする機会も増やそうと思います。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3			・話をすることで共通理解ができています。	・いつも、振り返りや現在の課題についてなど、時間を確保していただき、ありがとうございます。引き続きよろしく願いいたします。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3			・連携することで、特性に応じた関わりなど、集団への適応がスムーズになった。	・これからも実践と研修を重ね、スキルアップして参ります。保護者や園の先生の困りごとに対し、解決に努めます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	3			・定期的な訪問は、関係者間の情報共有になった。 ・いつもありがとうございます。	・定期的に集団生活における姿を拝見することによって、個々の育ちを見とることができ、事業所としても次の支援への手がかりになりました。ありがとうございます。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>・訪問支援では、日々の保育の中で困っていることについて丁寧に話を聞いて頂き、安心して相談することができました。子どもの姿と一緒に見ながら助言をいただき、今後のかかわり方を考える良い機会となりました。ありがとうございました。</p> <p>・一人ひとりに目を向け、ぐるっくりんりん篠路での様子と併せて園へのアドバイスをいただけるので、園内でも情報共有しています。</p>					<p>・各園の園長先生および教職員の皆様におかれましては、ご理解を賜り心より感謝申し上げます。子どもたちの幸せな人生を願って、次年度も誠心誠意対応して参りますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>	